



2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月14日

上場会社名 Chatwork株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4448 URL https://corp.chatwork.com/ja/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員CEO兼CTO (氏名) 山本 正喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO兼コーポレート (氏名) 井上 直樹 (TEL) 03(6459)0514
 本部長
 定時株主総会開催予定日 2020年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年3月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期の業績 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	1,815	39.4	77	—	62	—	61	—
2018年12月期	1,301	—	△186	—	△163	—	△110	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年12月期	1.70	1.66	6.1	4.2	4.3
2018年12月期	△3.08	—	△41.9	△32.8	△14.3

(参考) 持分法投資損益 2019年12月期 ー百万円 2018年12月期 ー百万円

(注) 当社は2019年6月19日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っています。前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しています。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	2,008	1,478	73.6	40.40
2018年12月期	995	529	53.1	△35.30

(参考) 自己資本 2019年12月期 1,478百万円 2018年12月期 529百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	98	△49	870	1,531
2018年12月期	△66	△25	△0	611

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

2020年12月期の業績予想におきましては、競争・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、営業利益以下の各段階利益については黒字を継続しつつ、具体的な金額予想は開示しない方針とさせていただきます。また、売上高につきましては、Chatwork事業で前事業年度並みの前事業年度比40%以上、セキュリティ事業は市場環境より前事業年度比微減を想定し、全体売上高では前事業年度比30%以上の成長を目標としております。詳細は添付資料P.3「1. 経営成績の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期	36,600,000 株	2018年12月期	36,000,000 株
② 期末自己株式数	2019年12月期	— 株	2018年12月期	— 株
③ 期中平均株式数	2019年12月期	36,169,315 株	2018年12月期	36,000,000 株

発行済株式数に関する注記

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	3
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

業績の状況

当事業年度において、継続的な事業成長に向け、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、Webマーケティング活動の強化、既存サービスの機能強化に積極的に取り組んでまいりました。この結果、当事業年度の経営成績は、売上高1,815,079千円(前年同期比39.4%増)、営業利益77,693千円(前年同期は営業損失186,097千円)、経常利益62,343千円(前年同期は経常損失163,146千円)、当期純利益61,421千円(前年同期は当期純損失110,800千円)となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りです。

(Chatwork事業)

Chatwork事業は、引き続き主力サービス「Chatwork」の利点を適及し、新たな機能追加と顧客の獲得に努めました。以上の結果、売上高は1,600,314千円(前年同期比43.0%増)、セグメント損失は19,692千円(前年同期はセグメント損失256,516千円)となりました。

なお、当事業が当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当事業の維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当事業における費用として計上しております。

(セキュリティ事業)

セキュリティ事業については、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は214,764千円(前年同期比17.8%増)、セグメント利益は97,385千円(前年同期比38.3%増)となりました。

なお、当事業のセグメント利益については、前述の通り間接費をすべてChatwork事業にて計上していることから、当事業の売上高より当事業に要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べて1,013,551千円増加し、2,008,982千円となりました。これは主に、2019年9月に実施した資金調達等によって現金及び預金が920,480千円増加したことに加え、事業拡大による売掛金17,657千円の増加、前払費用12,897千円の増加、預け金14,007千円の増加によるものです。

(負債)

当事業年度末における負債は、前事業年度末に比べて64,130千円増加し、530,508千円となりました。これは主に、事業拡大により前受金が49,252千円増加したことに加え未払費用が10,270千円増加したことによるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べて949,421千円増加し、1,478,473千円となりました。これは主に、2019年9月に実施した資金調達により資本金及び資本剰余金が888,000千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社事業年度における現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ920,480千円増加し、1,531,768千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業キャッシュ・フロー)

営業活動における資金の増加は98,648千円(前年同期は66,349千円の使用)となりました。主な内訳は、前受金の増加額49,252千円増加した一方で、未払金が54,651千円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は49,053千円(前年同期は25,447千円の使用)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出41,569千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は870,885千円(前年同期は90千円の使用)となりました。主な内訳は、株式の発行による収入888,000千円等であります。

(4) 今後の見通し

2020年12月期におきましては、前事業年度に続きChatwork事業の売上高成長率の向上を第一優先とすることが当社の企業価値向上にとって最優先であると考えております。上記の考え方にに基づき、売上高につきましては、Chatwork事業で前事業年度並みの前事業年度比40%以上、セキュリティ事業は市場環境より前事業年度比微減を想定し、全体売上高で前事業年度比30%以上の成長を目標としております。また、当社サービス「Chatwork」における販売体制強化、及びプラットフォーム化の展開を加速し、継続的な機能追加による「Chatwork」の付加価値向上を行い、全社としての成長を更に加速したいと考えております。なお、営業利益以下の各段階利益については黒字を継続しつつ、一方で競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、具体的な金額の予想は開示しておりません。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	611,287	1,531,768
売掛金	128,328	145,986
貯蔵品	7,358	7,166
前払費用	49,629	62,527
立替金	—	58
預け金	28,840	42,848
その他	1,424	88
流動資産合計	826,869	1,790,386
固定資産		
有形固定資産		
建物	52,796	63,565
減価償却累計額	△8,958	△8,077
建物（純額）	43,838	55,487
工具、器具及び備品	51,128	59,059
減価償却累計額	△23,362	△37,482
工具、器具及び備品（純額）	27,766	21,576
土地	6,991	6,991
建設仮勘定	—	1,729
有形固定資産合計	78,595	84,055
無形固定資産		
電話加入権	69	69
無形固定資産合計	69	69
投資その他の資産		
破産更生債権等	—	716
敷金及び保証金	46,356	63,756
繰延税金資産	43,538	70,714
貸倒引当金	—	△716
投資その他の資産合計	89,894	134,470
固定資産合計	168,560	218,595
資産合計	995,430	2,008,982

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	186,054	131,923
未払費用	65,210	75,481
未払法人税等	10,539	42,036
未払消費税等	26,307	42,009
前受金	161,421	210,674
預り金	6,669	15,738
従業員預り金	10,160	12,615
その他	14	29
流動負債合計	466,378	530,508
負債合計	466,378	530,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	914,138	1,358,138
資本剰余金		
資本準備金	899,998	1,343,998
資本剰余金合計	899,998	1,343,998
利益剰余金		
利益準備金	3,535	3,535
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,288,620	△1,227,198
利益剰余金合計	△1,285,085	△1,223,663
株主資本合計	529,051	1,478,473
純資産合計	529,051	1,478,473
負債純資産合計	995,430	2,008,982

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,301,836	1,815,079
売上原価	567,246	686,548
売上総利益	734,590	1,128,530
販売費及び一般管理費	920,688	1,050,837
営業利益	△186,097	77,693
営業外収益		
受取利息	7	6
施設運営収入	—	1,822
補助金収入	22,344	750
雑収入	2,910	72
営業外収益合計	25,262	2,653
営業外費用		
株式交付費	90	7,963
新株予約権発行費	—	180
上場関連費用	—	8,970
為替差損	2,208	696
雑損失	12	192
営業外費用合計	2,310	18,003
経常利益	△163,146	62,343
特別利益		
固定資産売却益	—	1,500
関係会社清算益	13,549	—
特別利益合計	13,549	1,500
税引前当期純利益	△149,596	63,843
法人税、住民税及び事業税	4,741	29,597
法人税等調整額	△43,538	△27,176
法人税等合計	△38,796	2,421
当期純利益	△110,800	61,421

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	914,138	899,998	899,998	3,535	△1,177,819	△1,174,284	639,852	639,852
当期変動額								
新株の発行							—	—
当期純利益					△110,800	△110,800	△110,800	△110,800
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）								—
当期変動額合計	—	—	—	—	△110,800	△110,800	△110,800	△110,800
当期末残高	914,138	899,998	899,998	3,535	△1,288,620	△1,285,085	529,051	529,051

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	914,138	899,998	899,998	3,535	△1,288,620	△1,285,085	529,051	529,051
当期変動額								
新株の発行	444,000	444,000	444,000				888,000	888,000
当期純利益					61,421	61,421	61,421	61,421
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）								—
当期変動額合計	444,000	444,000	444,000	—	61,421	61,421	949,421	949,421
当期末残高	1,358,138	1,343,998	1,343,998	3,535	△1,227,198	△1,223,663	1,478,473	1,478,473

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	△149,596	63,843
減価償却費	16,368	22,804
敷金および保証金償却	1,326	3,909
受取利息	△7	△6
施設運営収入	—	△1,822
補助金収入	△22,344	△750
関係会社清算益	△13,549	—
株式交付費	90	7,963
新株予約券発行費	—	180
上場関連費用	—	8,970
売上債権の増減額 (△は増加)	△49,163	△18,373
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	716
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,579	△12,897
たな卸資産の増減額 (△は増加)	135	191
預け金の増減額 (△は増加)	△12,714	△14,007
その他の資産の増減額 (△は増加)	△730	1,335
未払金の増減額 (△は減少)	73,102	△54,651
未払費用の増減額 (△は減少)	8,709	10,270
未払法人税等の増減額 (△は減少)	21	10,621
未払消費税等の増減額 (△は減少)	506	15,701
前受金の増減額 (△は減少)	74,827	49,252
預り金の増減額 (△は減少)	△3,096	9,068
従業員預り金の増減額 (△は減少)	△7,261	2,455
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2	15
小計	△85,954	104,790
利息の受取額	7	6
施設運営収入の受取額	—	1,822
補助金収入の受取額	22,344	750
法人税等の支払額	△2,746	△8,722
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,349	98,648
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,656	△41,569
有形固定資産の売却による収入	—	13,825
差入保証金の差入による支出	△834	△28,123
差入保証金の回収による収入	5,450	6,814
関係会社清算による収入	593	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,447	△49,053
財務活動によるキャッシュ・フロー		
上場関連費用の支払額	—	△8,970
株式の発行による収入	—	888,000
新株予約権発行による支出	△90	△8,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90	870,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△91,886	920,480
現金及び現金同等物の期首残高	703,174	611,287
現金及び現金同等物の期末残高	611,287	1,531,768

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「Chatwork事業」と「セキュリティ事業」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計基準に準拠した方法であります。報告セグメントの利益又は損失は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

なお、セグメント間の内部取引は発生しておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,600,314	214,764	1,815,079	1,815,079
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,600,314	214,764	1,815,079	1,815,079
セグメント利益又は損失(△)	△19,692	97,385	77,693	77,693
その他の項目				
減価償却費	22,804	—	22,804	22,804

(注)セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株あたり純資産額	△35.30円	40.40円
1株あたり当期純利益又は当期純損失 金額(△)	△3.08円	1.70円
潜在株式調整前 1株あたり当期純利益	—円	1.66円

(注)1. 1株あたり純資産額については、優先株主に対する残余財産の分配額を控除して算定しております。

2. 2019年6月19日付けで普通株式1株につき200株の割合で株式分割をおこなっております。前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株あたり純資産額及び1株あたり当期純利益又は当期純損失金額(△)を記載しております。

3. 1株あたり当期純利益又は当期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失金額 (△)		
当期純利益又は当期純損失金額(△)	△110,800	61,421
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純 損失金額(△)(千円)	△110,800	61,421
普通株式の期中平均株式数(株)	36,000,000	36,169,315
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	834,363
希薄化効果を有しないため、潜在株式調 整前1株当たり当期純利益金額の算定に 含まれなかった潜在株式の概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。